

ふれあいネットワーク

ふくい社会福祉

3
No.368



温故知新 ～一途に社協道～



ありがとう たびだち
しあわせ紡いで60年 ～感謝、そして出発～
(県社協創立60周年スローガン)

福井県社会福祉協議会は、福祉関係者だけでなく、多くの県民の皆様とともに、福井のしあわせづくりに寄り添い、今年で60年目を迎えます。この節目の年を迎えるにあたり、さまざまな事業や活動に取り組んだ先人たちの情熱や想いを今一度確認し、また、この年が、未来への出発点となるよう、心新たに振り返っていききたいと思います。



いざという時、社協はどう動くべきか!? Vol.2

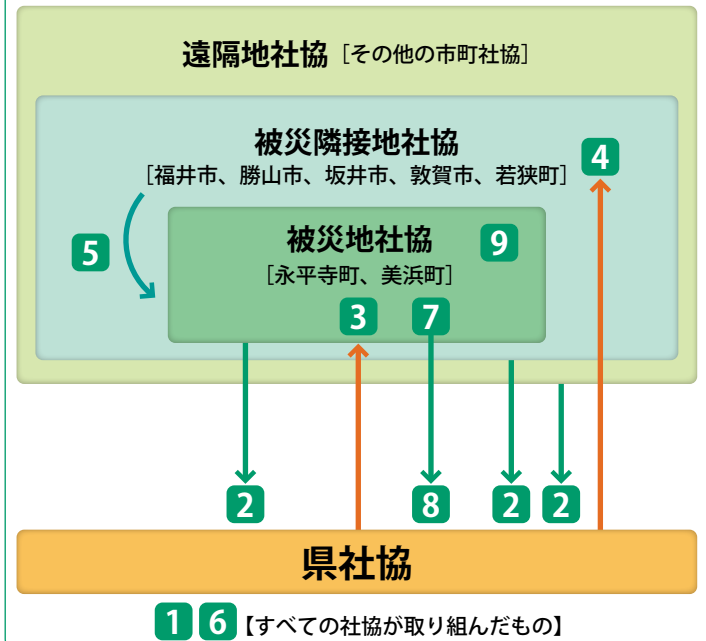
「災害を想定した社協相互支援『実地訓練』」の検証（被災地社協の動きに焦点をあてて）

災害時における社協間の迅速な相互支援体制を作り上げるため、平成22年11月28日(日)、県社協とすべての市町社協が参加して実地訓練を実施しました。県社協の訓練を検証した前号に引き続き、今号では被災地社協を中心とした訓練の【全体像】と訓練から見えてきた【成果・課題】を検証します。

訓練のプログラム

- 1 緊急連絡・参集
- 2 被害状況の把握と報告【情報収集・提供】
- 3 先遣隊（職員）の派遣・受入
- 4 第1次応援職員派遣の要請（派遣調整）
- 5 第1次応援職員の派遣・受入
- 6 応急対策・初動方針検討会議の開催
- 7 第2次以降の応援職員派遣の要請
- 8 第2次以降の応援職員の派遣計画の策定
- 9 災害ボランティアセンターの立上げと運営

訓練の全体像



《被災地社協の取組み・課題等》

永平寺町社協

◆主な取組み

- ・3支所【上志比・永平寺・松岡】での災害ボランティアセンターの立上げと運営
- ・非常時職員参集場所【最寄りの支所】の設定および参集
- ・各支所の拠点機能を活かした情報収集
- ・要援護者宅への直接安否確認

◆課題

- ・災害時の社協の役割【行政との関係等】の再確認
- ・行政、自主防災組織、民生委員、福祉委員と連携した訓練の実施
- ・社協参集【最寄りの支所】時における職員参集経路の確認と被害状況の把握方法の標準化
- ・抜き打ち訓練の実施



ロールプレイ
【センター立上げの説明】



応援職員（福井市社協）も
センター運営に協力



在宅介護支援センター職員も、
実際に安否確認に向き地区
に1軒ずつ安否を記入



訓練終了。
応援職員（勝山市社協）協力による
炊き出し用のトン汁も出される

美浜町社協

◆主な取組み

- ・訓練前準備として災害対応に関する職員研修の企画・実施
- ・参集過程における職員自宅周辺の被害状況把握
- ・被害状況等確認シートの整備・活用
- ・サービス事業所職員向け研修の企画・実施

◆課題

- ・職員の災害支援に関する知識や経験の向上
- ・地元の関係機関（JC等）との平時の関係づくり
- ・確認シートの有効活用【保管場所や確認方法の共有】
- ・職員自身が居住する地域情報の把握
- ・訓練の継続実施【行政との連携も含む】
- ・社協での最低限の備蓄品整備



応急対策・初動方針検討会議の様子



ロールプレイ【ボランティア受付】の様子

《全体の課題等》

◆訓練の成果

【情報収集・提供】

- ・各社協の拠点機能を活かした情報収集の有効性
- ・早期における各社協の協働体制（イメージ）の確立

【応援職員の派遣】

- ・被災地（現地）までの道順確認などが可能
- ・被災地社協と応援職員とのつながりの構築

【災害ボランティアセンターの立上げ・運営】

- ・応援職員との協働によるセンターの円滑な運営体制の確立
- ・センター運営に加え、要援護者支援の必要性の確認

◆課題

- ・定期（不定期）的・継続的な訓練の実施
- ・関係機関との協働による訓練の企画・運営
- ・応援職員派遣訓練の継続実施
- ・センター運営のイメージづくり
- ・応援職員として機能できる職員の計画的な養成
- ・電話、メール以外の情報伝達ツールの確保

《まとめ》

この訓練は、今年度で4回目となりますが、昨年度は「災害ボランティアセンターの立上げ」訓練、今年度からは「災害ボランティアセンターの立上げ・運営」訓練、さらに「第一次応援職員の派遣」訓練も新たに取り入れ、回を重ねるごとに、プログラムの充実を図ってきました。

今回の訓練を通じて、被災地社協への人的サポート体制を確立すること、災害ボランティアセンターの立上げ・運営の人的支援に加え、社協業務（事務局、サービス事業所、避難所等）への人的支援の必要性も改めて確認されました。

そのためには、応援職員として機能できる職員を計画的に養成するとともに、災害ボランティアセンターの立上げ・運営訓練を今後も継続して実施することが必要となります。そして、関係機関（市町行政等）との連携に基づく訓練の実施も課題となります。

加えて、災害時の社協ネットワーク相互支援協定の意義を再確認するとともに、平時から地域福祉の視点に立った被災地（者）支援に取り組む手法やノウハウを積み上げていくこと、地元関係機関との関係づくりをすすめることなどが県内社協に共通する課題として確認されています。

また、今冬の大雪に伴う除雪ボランティア活動〔別掲〕では、市町社協がボランティア窓口を開設し、コーディネーターとマッチングを行ったところですが、関係者（民生委員、福祉委員等）との連携を図るための平時の関係づくりの重要性も改めて確認されました。

その意味で、今後も社協ネットワークを活かした被災地支援活動の基盤づくりが求められています。

25年ぶりの大雪が突き付けたもの ～地域の支え合いの力とボランティアの力～

福井県内では、1月30日から2月1日にかけて雪が降り続き、25年ぶりの記録的な大雪となりました。県内の大動脈である国道8号線や北陸自動車道では、多くの車が立ち往生し、公共交通機関も終日運休となるなど、各地で大混乱をきたしました。

この急激かつ大量の積雪により、除雪が行きとどかないところにボランティアの活用を促すような報道があったため、福井市のような一部の市部では、一時「除雪に来て欲しい」というニーズが殺到し、対応できない状態に陥りました。

県社協ボランティアセンターで、除雪ボランティア活動の相談を行ったところ、一部の地域では、困りごとはボランティアのみで、昔ながらの「おかげさま」「お互いさま」精神で助け合ってきたコミュニティ機能が弱っていることを痛感させられました。

今回の大雪によって、「地域の支え合い」という本来あるべき“内の力”と、「ボランティア」という“外の力”の両者のバランスをどのように保てばいいのか、という問題を突きつけられました。

大雪だけでなく、これからも災害がないとはいえません。そんな時、ボランティアが本当の意味で「地域の支え合い」の大きな力になるような支援のあり方を、社協は考えておかねばなりません。

自らの意志で結集し、県内各地で活躍して下さったボランティア

永平寺町



除雪ボランティア活動中の上志比中学校野球部...降雪によりグラウンドが使えないため、除雪ボランティアをしたい、と、学校からお申し出いただき、1月22・29日、2月5日と活動されました。

勝山市



大阪から駆けつけてくださった亀田組さん...泊まりがけで3日間、除雪ボランティア活動をしていただき、勝山の大きな力となっていただきました。

南越前町



今庄では、気象台の観測史上最大の244cmの積雪深を記録しました。坂井市や三国や小浜市など県内各地から駆け付けてくださった方々と永平寺町社協、県社協の職員らが、ボランティアとして住民の方の生活通路確保のために除雪を行いました。

ありがとうございます
屋根雪下ろし器具「ユキリンボウ」



若狭町在住の中西英輝さんから自身の発明による屋根雪下ろし器具「ユキリンボウ」を10本、ご寄贈いただきました。大野市社協、勝山市社協、南越前町社協に各3本、池田町社協に1本配分しました。除雪ボランティア活動の際に活用させていただきます。

除雪ボランティア対応状況（平成23年2月17日17:00現在）県まとめ

個人登録	189人
団体登録	14団体
対応件数	148件
派遣のべ人数	386人

「平成22年度 市町社協トップセミナー」開催
 ↳社協の価値向上に向けて、一歩を踏み出す

去る1月20日～21日、「平成22年度市町社協トップセミナー」がユアーズホテルフクイにおいて開催されました。

県内社会福祉協議会の正副会長をはじめ役員50名が参加し、社協の「存在意義」と「価値向上」をテーマに、必要な人づくり、組織づくり、ネットワークづくりについて認識を共有しました。

特別講演では、全国社会福祉協議会の各種委員や研修会等での講師を務めている人事コンサルタント・社会保険労務士の綱川晃弘氏を招き、長年にわたって社会福祉経営の実態を見てきた立場から、社協の価値向上をための方策をご教示いただきました。



ご講義いただいた綱川氏



実践報告の様子

綱川氏は社協の価値として、「社会的価値」「利用価値」「所属価値」の3つを挙げ、価値向上に向けては、それぞれの価値の好循環を意図的に行うこと、また、その中でも「所属価値」向上に向けた具体的な人事・労務管理のポイントについて話をされました。

その後、実践報告として、福井市社協の「経営改善検討委員会」の取り組みと若狭地区4町社協による協働活動について、それぞれ発表をいただきました。

2日目はグループ別の協議を行い、「無縁社会」に象徴される今の時代の中での社会福祉協議会の戦略を県内社協版『船中八策』（下段参照）としてとりまとめ、社協の使命を改めて認識していました。

「社協会長会」誕生!!
 社協創設60周年に向け県内社協の新たな船出

◆社協のネットワークを強化

平成23年1月21日、市町社協と県社協の会長18名で組織する「福井県市町社会福祉協議会会長会」が誕生しました。

県内の社協では、これまでも「災害時における社協ネットワークによる相互支援協定」（平成18年締結）や、地域福祉活動の推進を相互の連携と協働の中ですすめてきました。



18 社協会長が揃い記念の写真撮影

しかし、現在の社会・経済情勢を背景に、日々の暮らしの中で生じる生活課題がより複雑で多様なものに変化してきたことから、こうした課題の共有と解決に全県的に取り組んでいくことが求められていました。

◆社協版「船中八策」で戦略を立案

設立総会は、山岸博之小浜市社協理事長を議長に、幹事5名（代表幹事・清川忠県社協会長）と会計監事2名が選出（下表）され、規約や事業計画・予算が承認されました。

初年度にあたる平成23年度は、地域福祉活動の底上げに向けた協働をこれまで以上に強化する一方で、行政や関係機関への政策提言や要望活

動などにも積極的に取り組んでいきます。

また設立総会に先立って開催された「市町社協トップセミナー」では、これからの社協が取り組むべき戦略的な課題を『船中八策』として取りまとめていきます。

社会福祉事業法の制定（社協創設）から60年の節目を迎える今年が、県内社協にとっても、福井の地域福祉活動にとつても新たな船出となるよう、これからは「一途に社協道」を貫いていくことが改めて確認されました。

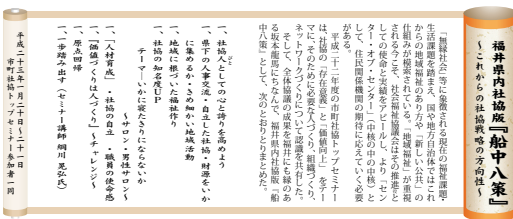


協議をすすめる各社協会長

福井県市町社会福祉協議会会長役員

役職名	氏名	社協名	備考
幹事	清川 忠	福井市社会福祉協議会	代表幹事
	村上 哲雄	敦賀市社会福祉協議会	副代表幹事
	藤谷 家也	福井県社会福祉協議会	
	江端 龍男	池田町社会福祉協議会	
	川端 満治	おおい町社会福祉協議会	
会計監事	青木 甫	坂井市社会福祉協議会	
	宮崎 泰治	越前町社会福祉協議会	

〔任期〕平成23年1月21日～平成25年1月20日



— 福祉事業所の皆様へ —

利用者、家族の想いが届いていますか？

サービスを利用している本人、その家族等が要望等の想いを気兼ねなく伝えられ、これを迅速かつ適切に応える環境や仕組みを事業所として整えることは、サービスの量・質を高め、また、双方の信頼関係を強くすることにつながります。

苦情解決体制等に関する訪問相談受付中

福井県運営適正化委員会では、このような苦情解決等に向けた体制・手続き等の取組みについて事業所に訪問し、様々なご相談等に応じます。

福祉事業所の皆様、ご遠慮なくご活用ください。

※平成 22 年度には、40 か所の事業所に訪問し、適切な苦情解決体制等に向けて、様々な相談やアドバイスをを行いました。
※時期によって混み合うことも予想されますので、お早めにお申し込みください。

《お申込み（お問合せ）は、こちらまで…》

「福井県運営適正化委員会」事務局 TEL (0776) 24-2347
FAX (0776) 24-8942

e-mail : siawase@f-shakyo.or.jp (3月末まで)
kujyo@f-shakyo.or.jp (4月から)

寄贈・寄付

ありがとうございました。

福井県生命保険協会 様

「年末愛のともしび募金」による寄贈をいただきました

●寄贈物品 車いす 13台

贈呈先 足羽利生苑・白楽荘・宝珠苑
六条ホームやわらぎ
坂井市社会福祉協議会
足羽ワークセンター
金津サンホーム・はこべの家



生命保険協会湯本会長より目録を受け取る県社協品谷専務



施設を代表して、車いすを受け取る足羽利生苑岩本施設長

●障がい者支援助成金 1施設5万円

助成施設 地域活動支援センターあゆみ
障害者就労支援事業所つづきの家

※障がい者の自立支援、就労支援を目的とした事業に助成
今回は、パソコンの購入資金として活用されます。



助成金を受け取るつづきの家野村施設長



3月行事予定

- 1日(火) 福井県社会福祉施設経営者協議会研修会(サンドーム福井)
- 2日(水) 日常生活自立支援事業関係機関連絡会議(鯖江市社協)
- 3日(木) 社協組織・事業強化分科会(鯖江市)
- 4日(金) 福祉施設経営セミナー(自治会館) 人権相談機関研修会(アオッサ) シニアアート展(ショッピングシティベル ~6日)
- 8日(火) 日常生活自立支援事業生活支援員研修会(福井市社協) 福井県社会就労センター職員研修会(あわら市)
- 9日(水) 県民生委員児童委員協議会「相談に関する研修会」(越前市福祉健康センター) すこやか長寿センター運営委員会
- 11日(金) 社協ボランティアコーディネーター研修会 介護実習・普及センター運営委員会
- 14日(月) 県若者自立支援連絡協議会(県庁)
- 15日(火) 福井県社会福祉施設経営者協議会理事会
- 16日(水) 福祉人材センター運営委員会 社会福祉研修運営委員会
- 17日(木) ラジオ放送講座研修会・修了式 県認知症対策推進会議(県庁)
- 18日(金) 県ボランティア応援企業(団体)認証委員会
- 23日(水) 県社協理事会・評議員会
- 24日(木) 県共募理事会・評議員会
- 25日(金) 県老人クラブ連合会理事会 介護雇用プログラム(介護福祉士コース)事業説明会
- 30日(水) 県民生委員児童委員協議会協役員会

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先 (TEL)
松翁会 「社会福祉助成金」	法人施設、団体（個人は不可）	社会福祉に関する民間の事業、研究等。	80万円	7月末日	(財) 松翁会 03-3201-3225
きょうとNPOセンター共生・地域文化大賞運営事務局 「共生・地域文化大賞」	NPO法人、ボランティア団体等	市民が担い手となって「共生（ともいき）」の地域づくりをめざすすべての活動を対象。（青少年育成、環境保全、まちづくり等）。	各部門別に助成金限度額を設けている	表彰・助成部門7月上旬 アイデア・企画部門9月上旬	きょうとNPOセンター 共生・地域文化大賞運営事務局 075-353-6292
朝日新聞厚生文化事業団 「児童養護施設（里親家庭）の高校生進学応援金」	全国の児童養護施設および里親家庭で生活し、2011年4月に進学希望している高校生。	4年制大学、短期大学、専門学校の入学金、施設設備費など入学時に納入する費用（授業料は除く）。	100万円	8月中旬	(福) 朝日新聞厚生文化事業団「進学応援金」係 03-5540-7446
大和証券福祉財団 「ボランティア活動助成」	ボランティア団体・グループ	在宅高齢者、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動。	30万円	9月中旬	(財) 大和証券福祉財団 03-5555-4640
ヤマト福祉財団 「小倉昌男賞」	障がい者福祉関係者（個人）	働く障がい者の生活向上に大きく貢献している方。	副賞：賞金100万円	9月中旬	(財) ヤマト福祉財団 03-3248-0691
社会福祉事業研究開発基金 「特別助成」	社会的信用を有する社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体等	社会的課題となっており対応が急務となっている民間の支援事業。（精神障がい者・児童虐待防止・ホームレス問題・更生保護の活動・認知症に関する支援事業等）	100万円	9月末日	(福) 社会福祉事業研究開発基金 03-6256-3581
日本おもちゃ図書館財団 「助成金」	おもちゃ図書館を運営する団体	おもちゃの購入、手作りおもちゃのための材料、おもちゃ図書館整備のためのシール、おもちゃ格納戸棚、おもちゃ陳列棚の購入に要する費用。	A申請…30万円 B申請…一律5万円	9月末日	(財) 日本おもちゃ図書館財団 03-5565-0822
損保ジャパン記念財団 「自動車購入費助成」	社会福祉法人、NPO法人等	障がい者の在宅福祉活動を行う団体等。	自動車購入費100万円	9月末日	(財) 損保ジャパン記念財団 03-3349-9570
福祉医療機構 「社会福祉振興助成事業」	民間の非営利活動団体・グループ（法人格の有無は不問）	高齢者・障がい者の福祉の充実、子育て支援、障がい者スポーツ支援に関する事業。	300万円	6月末日9月上旬	(独) 福祉医療機構 03-3438-9945
福井県しあわせ福祉資金助成事業	ボランティア団体等	心身障がい者、高齢者、児童等の社会参加または自立更生の機会と便宜を提供する等の、直接的な援助活動。	20万円	10月末日3月末日	福井県地域福祉課 0776-20-0326
キリン福祉財団 「公募助成」	地域で子育て支援を目的とする民間団体（法人格の有無は不問）	地域における子育てに関わるボランティア活動。	30万円	11月中旬	(財) キリン福祉財団 03-5540-3522
さわやか福祉財団 「連合・愛のカンパ」	非営利の任意団体、NPO法人、グループ、サークル	新たに始める高齢者、子ども、障がい者等の助け合い・支え合い活動。	15万円	11月中旬	(財) さわやか福祉財団 03-5470-7751
日本たばこ産業 「青少年育成に関するNPO助成事業」	1年以上の活動実績をもつ非営利法人	地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる事業。	150万円	11月中旬	日本たばこ産業㈱ 03-5572-4290
日本社会福祉弘済会 「社会福祉助成事業」	社会福祉法人、福祉団体等	社会福祉関係者の資質向上に関する研修や研究等。	各事業ごとに助成金限度額を設けている	12月中旬	(財) 日本社会福祉弘済会 03-3846-2172
ヤマト福祉財団「障がい者福祉助成」	障がい者施設・団体	障がい者の工賃向上や自立と社会参加への支援に直結する事業。	100万円	12月末日	(財) ヤマト福祉財団 03-3248-0691
三菱財団 「社会福祉事業」 「研究助成」	社会福祉を目的とする民間の事業（法人）、調査研究（個人、法人）	現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業、社会福祉に関する調査研究等。	総額約7千万円	1月上旬	(財) 三菱財団 03-3214-5754
朝日新聞厚生文化事業団 「高齢者への暴力防止プロジェクト助成」	営利を目的としない民間団体・グループ（法人格の有無は不問）	高齢者への暴力、虐待の防止、予防、ケア、教育、啓発に携わる事業等。	100万円	1月中旬	(福) 朝日新聞厚生文化事業団 03-5540-7446
全日本冠婚葬祭互助協会 「社会貢献基金助成」	非営利組織（社会福祉法人、NPO法人等）	高齢者福祉事業、障害者福祉事業、児童福祉事業等社会貢献に資するあらゆる事業。	200万円	2月末日	(社) 全日本冠婚葬祭互助会 03-3596-0061
げんでんふれあい福井財団「助成事業」	ボランティア団体等	ボランティア団体等の活動に関する事業。	20万円	(前年度) 3月末日4月末日	(財) げんでんふれあい福井財団 0770-21-0291

※福井県共同募金会が受け付けしている助成事業

詳しくは、福井県共同募金会までお問い合わせください。 [TEL: 0776 - 22 - 1657 ホームページアドレス: <http://akaihane-fukui.jp/>]

名 称	助成対象	助成対象分野、条件等	助成額	申込締切	決定 (内定)
一般共同募金助成金	地域で福祉活動を進めている民間団体（ボランティア、小規模福祉施設なども含む）で、公的補填のない福祉事業	①地域福祉の推進となる事業 ②地域福祉の推進となる備品車両（リース契約含む）、建物整備	50万円まで施設整備は200万円まで	5月下旬	8月下旬
災害等準備金助成金		①大規模災害に備えた事業や研修会、又は、備品等（社会福祉施設対象） ②先駆的発展的な事業			
NHK歳末たすけあい義援金		①歳末ふれあい活動費 ②地域福祉活動事業 ③地域福祉活動備品	50万円まで	9月上旬～10月中旬	3月中旬
車両競投公益資金記念財団	NPO法人、ボランティア活動団体	①事業 ②器材	90万円まで	6月中旬	9月下旬
	保育所	補修・改修	300万円まで	2月下旬	5月中旬
中央競馬馬主社会福祉財団助成金	社会福祉法人	①施設の設備拡充、改築等 ②備品の購入	事業総額の75%まで 総額表示 (当該年度要項)	6月中旬	10月中旬

活用して
みませんか?

社会福祉関連民間助成事業の紹介

企業や団体の中には福祉団体やボランティアグループ等を対象に様々な助成事業を行っているところがあります。より活発な活動をすすめるために、こうした助成金を活用してみたいかでしょうか。

※以下の一覧表は、本会ホームページ〔 <http://www.f-shakyo.or.jp/> 〕からダウンロードできます。

【平成 22 年度実績】

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先 (TEL)
全労災 「地域貢献助成事業」	NPO 法人、任意団体等 (NGO、ボランティア団体等)	1. 環境分野 ・ 地域の自然環境を守る活動等。 2. 子ども分野 ・ 子どもたちの豊かな遊びの場をつくる活動等。	30 万円	4 月上旬	全労災地域貢献助成事業局 03-3299-0161
損保ジャパン記念財団 「社会福祉助成」	社会福祉分野で NPO 法人の設立 認証申請を行う予定の団体	障がい者・高齢者を対象とする、主として在宅福祉活動。	30 万円	4 月末日	(財) 損保ジャパン記念財団 03-3349-9570
キリン福祉財団 「キリン・子ども「力」応援 事業公募助成」	5 名以上の小・中学生・高校生の サークル、グループ、団体	子どもが主体となって実施する活動。 (社会体験、演劇、世代間交流、地域伝承等)。	15 万円	4 月中旬	(財) キリン福祉財団 03-5540-3522
NHK 厚生文化事業団 「地域福祉を支援するわかば 基金」	地域で活発な福祉活動を進めるグ ループ (NPO 法人可)	高齢者、障がい者の日常生活支援活動 等。地域の高齢者や障がい者へのパソ コン指導等。	第 1 部門・70 万 円第 2 部門・リサ クルパソコン	5 月下旬	(福) NHK 厚生文化事業 団 03-3476-5955
みずほ教育福祉財団 「老後を豊かにするボラン ティア活動資金」	ボランティアグループ (住民参加 型在宅福祉サービス団体等含む)	高齢者の日常生活援助、生活環境の向 上、レクリエーション、他世代との交 流を図る等のボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(財) みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
大同生命厚生事業団「地域保 健福祉研究助成」	保健・医療・福祉の実務従事者等	地域保健及び福祉に関する研究等。	30 万円	5 月末日	(財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「サラリーマン (ウーマン) ボランティア活動助成」	社会福祉分野のボランティア個人・ グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボラン ティア活動。子どもの健全な心を養う ための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「シニア・ボランティア活動 助成」	社会福祉分野のボランティア個人 (年齢 60 歳以上)・グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボラン ティア活動。子どもの健全な心を養う ための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
日本生命財団 「高齢社会助成」	先駆的・開発的活動研究に従事す る研究者、団体等	①先駆的助成…高齢社会における 地域福祉、まちづくりを目指す地域 を基盤とした先駆的助成等。 ②実践的研究助成…高齢社会における 地域福祉まちづくりを探索する実践 的研究等。	対象事業別に助成 金の限度額を設け ている	① 5 月下旬 ② 6 月中旬	(財) 日本生命財団 06-6204-4013
福井県社会福祉協議会「まご ころ基金助成」	民間の非営利活動団体・グループ (法人格の有無は不問)	高齢者・障がい者・児童の福祉の充実 を図ることを目的とする事業。	20 万円	5 月末日	(福) 福井県社会福祉協議会 0776-24-2339
ファイザー「心とからだのヘル スケアに関する市民活動・ 市民研究支援」	民間の非営利活動団体 (法人格の 有無は不問)	中堅世代の人々の心身のケアに関する 課題等の課題解決のために、市民団 体が行う市民活動および市民研究。	300 万円	6 月中旬	ファイザー株式会社ファ イザープログラム事務局 03-5309-7663
マニユライフ生命・中央共同 募金会 「災害被災地復興自立支援事 業」	阪神・淡路大震災以降、国内で発 生した災害被災地で復興支援の活 動を行う団体等	コミュニティづくり、人材育成、子育 て支援・子どもの活動など、被災地復 興のためのプロジェクト活動。	プロジェクト助 成 A…20 万 円 プロジェクト助成 B…80 万円	7 月上旬	中央共同募金会企画広報 部企画課 03-3581-3846
TOTO 株式会社 「TOTO 水環境基金」	営利を目的としない市民活動団体 (法人格の有無、種類は不問)	地域の水と暮らしの新しい文化の実現 に向けた実践活動等。	総額 1,000 万円 ※活動内容を精査 の上、助成金額 決定	6 月下旬	TOTO 株式会社総務部 TOTO 社会共生 G 係 093-951-2224
三谷市民文化振興財団助成事 業	非営利の団体	青少年、女性、その他のボランティア 活動等。	20 ～ 30 万円	6 月中旬	三谷市民文化振興財団 0776-20-3188
太陽生命厚生財団 「社会福祉助成事業」	ボランティアグループ、NPO 法 人等 (法人格の有無は不問)	①在宅高齢者、在宅障がい者の自助・自 立を支援する事業等。 ②老人保健、高齢者福祉に関する研究・ 調査。	①事業助成 20 ～ 50 万円 ②研究助成 30 ～ 70 万円	6 月末日	(財) 太陽生命厚生財団 03-3272-6268
丸紅基金 「社会福祉助成金」	非営利法人	社会福祉事業 (福祉施設の運営、福祉 活動など) を行う民間の団体が企画す る事業。	200 万円	5 月末日	(福) 丸紅基金 03-5446-2474
みずほ教育福祉財団 「配食用小型電気自動車寄贈 事業」	ボランティアグループ、NPO 法 人等	高齢者向け配食サービス	1 台総額 110 万円	6 月末日	(財) みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
読書推進運動協議会 「子ども文庫助成」	ボランティア団体、個人	子ども達の読書啓発活動、指導等。	各部門別に助成金 限度額を設けてい る	6 月末日	(社) 読書推進運動協議会 03-3260-3071
都市緑化基金 「緑の都市賞」	緑化活動団体等	緑化や保全に取組み、展開している事 業等。	各部門別に助成金 限度額を設けてい る	6 月末日	(財) 都市緑化基金 03-3235-8065
みずほ福祉助成財団 「社会福祉助成金」	法人施設、団体、共同作業所等ま たは研究グループ (個人を除く)	障がい者 (児) に関する民間の事業や 研究。	事業助成 …15 ～ 100 万円研究助成 …200 万円	7 月末日	(財) みずほ福祉助成財団 03-3201-2442
ユニベール財団 「市民活動助成」	高齢者が活動する市民活動団体お よび高齢者を対象とする市民活動 を行う団体	高齢者の医療・保健・福祉、まちづく り等、高齢者を対象とした市民活動等。	100 万円	7 月末日	(財) ユニベール財団 03-3350-9002
清水基金 「一般助成事業」	障がい児・者の各関係施設を経営 する民間社会福祉法人	施設福祉及び地域福祉に必要な建物 (新 築、改修、増改築)・車両・機器等。	50 ～ 700 万円	7 月末日	(福) 清水基金 03-3273-3503

未来に笑顔

Vol.8 パティシエの技術を活かし、食べる楽しさを届けたい！



プロフィール

なかうえ しゅうご
仲上 周吾 さん

(福)若狭町社会福祉協議会 調理員
洋菓子職人(パティシエ)の経験を持ち、おいしい食事とあま〜いお菓子で利用者の皆さんに幸せなひと時を提供する異色の調理員

このコーナーでは、「笑顔(スマイル)」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。



しかし、現在の仕事では、週に一回利用者さんと一緒に食事をする機会があったり、利用者さんが厨房に来て、「おいしかったよ」とか、こんな風にしてほしいなど、感想や意見を伝えていただけるので、利用者さんとの距離がとても近く、その表情や言葉に励まされながら仕事を

食べてくれる人の顔が見える！

現在、デイサービスの利用者さんや支援ハウスの入居者さん、約100名の食事を作っています。

洋菓子の職人(パティシエ)として県外で働いていた時は、より多くのお客さんの趣向にあつた商品づくりをしていました。

でも、ここでは、できるだけ一人ひとりの健康状態や、食べやすさなどを考え、調理をしています。「食べていただく方に喜んでいただく」ということは同じですが、考え方の違いに初めは戸惑ったことを覚えています。

しています。以前の職場では経験することが出来ない貴重な経験をさせていたいただいていると思っています。

また、パティシエの技術を活かし、利用者さんのお誕生日や記念日のほか、イベント等でお菓子を作っています。お客さんの前でケーキのデコレーションの実演をしたりするのですが、うれしそうなお表情で、かぶりつきで見られると、ちょっと恥ずかしさもありますが、パティシエをやっているとよかったですと感動する瞬間でもあります。(笑)

食事を楽しく！

この仕事に就いて初めて、普通の食形態では食事が出来ない方がいることを知りました。液体が飲み込みにくい方や、細かく刻んだ方が食べやすい方、ペースト状にした方が食べられる方など様々です。職員のみならずどうしたら「おいしく」「楽しく」食べていただけるか、食材選びや調理法を試行錯誤しています。

私の目標ですが、デイサービスの利用者さんが、楽しそうにレクリエーションをされている姿を見るたび、利用者さんにレクリエーションと同じぐらい「パレア若狭で食べる食事が楽しみだ」と言ってもらえるようになりたいと思っています。

また、今後はこれまでの経験や技術を活かし、在宅で食事の支援を必要とされている方にも、その方が一番おいしく食べていただけるような食事を提供できるように、研究していきたいと考えています。(まだまだ試行錯誤中。頑張ります!!)

笑顔の素

利用者さんの「おいしかったです!」、「ごちそうさま」の声

初めて利用者さんに「このご飯が一番おいしい」と言ってもらった時の事は、今でもはっきり覚えています。食事を楽しんでいただけて、明るい笑顔で、言っていた「おいしい」の一言は、何にも代えがたい私の笑顔の素になっています。



取材を終えて

利用者さんから頂いた桜の花の塩漬けで、桜風味のパバロアを作り、喜んでいただいたと嬉しそうに話す仲上さん。パレア若狭に来ていただいた方に喜んでもらえるお菓子作りにも取り組みたいななど、夢は語りつくせないようです。

今度は、パティシエの実演&試食もお願いしたいですね。